

広報

かなみ



田方広報研究会共同編集

特集

つながる医療

～地域の救急医療を知る～

つながる医療で命のつなぐ。

はばたく
静岡
国文祭

11月3日(火)に開催される
函南町パフォーマンスフェスティバルまで
あと49日

今月の主な内容

つながる医療～地域の救急医療を知る～
下水道 地球を守る リサイクル
地球にやさしい買い物キャンペーン
災害にあったときの税金の救済措置
プレミアム付商品券「iみなみ^{KAN}なみ!商品券」
函南町消防・防災フェア など

平成21年
9月号

No519

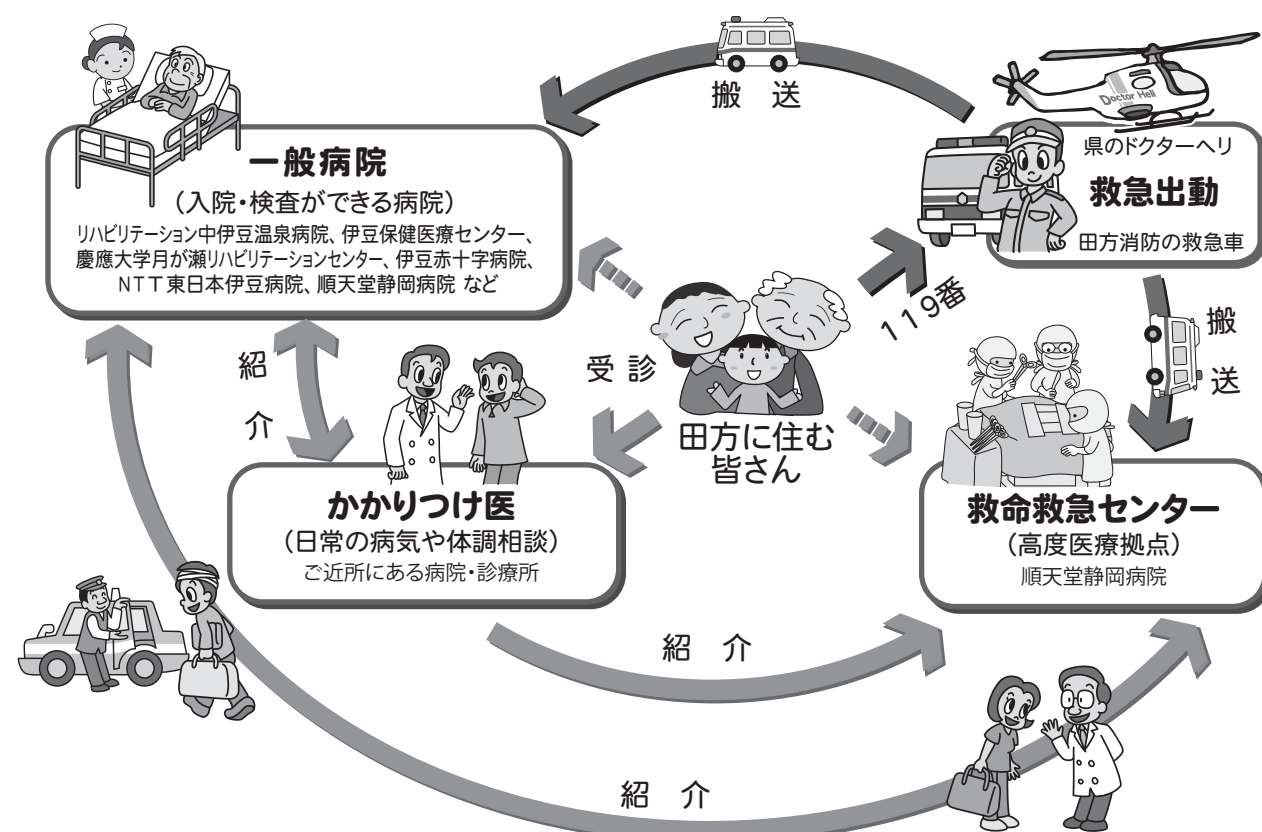


Ecoカンちゃん



Ecoナミちゃん

つながる 田方地域の医療・救急機関



田方医師会ホームページでご近所のお医者さんや休日の急患診療当番医を検索 <http://www.tagata-ishikai.jp/>



かかりつけ医を持つ
森 正さん(86歳 伊豆市在住)

60歳を過ぎたころ、集団検診で胃に影が見つかったことから、近所のお医者さんで年1回、胃カメラを撮るようになりました。10年ほど前、前年より胃潰瘍が大きくなっていることから、がんが疑われ、専門医を紹介されて手術をしました。毎年同じ先生に診てもらっていたからこそ、早期発見と完治ができ、今も元気でいられるのだと思います。この年になると、健康に不安を感じることも多々あります。かかりつけ医を決めておくと気兼ねなく相談できるので、心強いです。

転ばぬ先の
近所のお医者さん

かかりつけ医

田方医師会の病院・診療所



風邪や腹痛などで健康状態に違和感を感じたときにはまず、あなたの身近にある診療所や病院での受診をおすすめします。自分や家族のかかりつけの医師を決めておきましょう。かかりつけ医は、健康状態や病歴、持病などを把握して、入院や精密検査が必要な場合は専門医を紹介してくれるほか、緊急時にも迅速で適切な対応をしてくれます。

かかりつけ医選びのポイント

- ①相談しやすいこと
- ②病気、治療、薬などを分かりやすく説明してくれること
- ③自宅や勤務先から近く、通いやすいこと
- ④患者を抱え込まず、すぐに適切な専門医を紹介してくれること

つながる医療

地域の救急医療を知る

皆さんは地域のお医者さんと上手に付き合っていますか？

私たちの住む田方地域(函南町、伊豆の国市、伊豆市)には、大病院からまちの診療所まで70以上の医療機関があり、普段からかかりつけ医などとして皆さんの健康を支えています。

これらの医療機関は皆さんが急な病気や事故に見舞われたときも、救急車やドクターヘリと連携して、休日の急患診療当番医、夜間急患室、救命救急センターなど、それぞれの役割を果たしています。

田方広報研究会では、田方地域における医療・救急機関の『つながり』をお伝えしたいと思います。

田方広報研究会 共同編集

田方広報研究会は、函南町、伊豆の国市、伊豆市、J A伊豆の国、伊豆保健医療センターの各広報担当で構成する田方地域の広報研究会です。

問合先 企画財政課(979-8101)

田方だけでなく、静岡県東部全体の医療拠点である順天堂静岡病院。ここでは、総合周産期母子医療や、がん診療連携拠点などとして最先端の高度医療のほか、三次救急医療施設（救命救急センター）としても、救急医療が行われています。

24時間体制による治療、看護、管理を行うICU、心疾患などに集中管理体制を行うCCUを含め、救命救急センターでは夜間も多くの専門医が待機し、様々な症状、年間2万人以上もの救急外来に対応すること



順天堂静岡病院全景

伊豆半島の救急医療
最後の砦

救命救急センター

順天堂大学医学部附属静岡病院



ができます。また、順天堂静岡病院では、空飛ぶ救急治療室ともいえるドクターヘリも備えています。天候によつては飛べないこともあります。毎日朝8時30分から日没まで、静岡県東部を中心に、広範囲に活躍しています。

ドクターヘリは、消防署の通信指令室からの要請を受けて、フライトドクター（医師）と、フライトナース（看護師）を乗せて出動します。出動までの所要時間は4分程度。静岡県東部の現場なら、出動から15分以内に到着できます。交通事故による大怪我、生命にかかわる急病などで一刻を争う重症患者の発生時に、医師がいち早く現場に到着し、接触・治療または病院へ搬送することは、より確実に生命を救うことにつながります。

車で20分以内の場所からの搬送は、救急車の方が早いこともあります。それ以上に搬送時間がかかる場合には、ドクターヘリの力が発揮されます。伊豆半島は生活区域が山によって分断されていますが、ドクターヘリは交通事情にかかわらず、迅速に患者を搬送することができます。順天堂静岡病院から下田までの約40km、ドク



順天堂静岡病院ホームページ <http://www.juntendo.org/>



重症患者を優先的に

うづら まさひこ

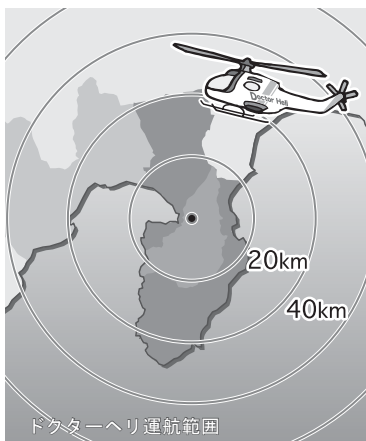
卯津羅 雅彦医師

（順天堂静岡病院 救命救急センター長）

ドクターヘリの導入により、医師がいち早く現場に駆けつけ、より充実した医療行為が行えるようになりました。現場では、医師も救急救命士も「患者を助ける」という目的のもと、お互いの技術・経験などを活かし合って、救命活動をしています。また、病院での診察も、重症患者を優先することで、待ち時間が長くご迷惑をお掛けすることもあります。田方地域の人は他地域に比べ、深い理解をいただいていると感じています。

ターヘリならば、わずか15分で到着できるのです。この機動性の高さから、災害時の活躍も期待されます。

順天堂静岡病院には、軽症患者から緊急を要する重症患者まで、毎日1,500人前後の人が外来診察に訪れます。皆さんの理解に支えられ、順天堂静岡病院は田方地域の医療と救急の最後の砦として、地域の皆さんの命と健康を支えています。



ドクターヘリ運航範囲

このように田方地域の医療・救急機関は、それぞれの役割で連携して、救急医療の現場を支えています。

しかし、医療は救急だけではなく、田方地域には医師や看護師、産科の不足や在宅医療など、まだまだ多くの課題が残されています。

皆さんで現状を知り、理解していくことが、地域の医療をさらに充実させていくことにも『つながる』のです。



救急車でかけつける

しもやま まさみ

下山 正美救急救命士（田方消防本部）

救急車は、皆さんからの119番で、24時間いつでも出動します。傷病者の様子や事故の状況などから、急いで病院へ連れて行った方がよいと思ったときには迷わず通報をしてください。しかし、緊急性がなく自分で病院に行ける場合は、救急車の利用は控えましょう。

救急車を利用しない場合も、患者の症状から判断して最適な医療機関を紹介することができます。病院選びに迷った時はお近くの消防署にお電話ください。

もしもあなたが、思いがけない急病や事故に見舞われたとき、電話で駆けつけ、病院に搬送してくれるのが、救急車です。田方消防本部には、2市1町（函南町・伊豆の国市・伊豆市管内に1本部3署1出張所があり、計6台（予備1台）の救急車が配備されています。

田方消防管内では救急車の出動件数は今年6月までの半年間で2573件ありますが、その9割以上は医療機関に搬送しています（田方消防本部調べ）。それは、順天堂静岡病院をはじめとする地域の医療機関の受け入れ体制が確保できていることや、

「もしも」のときに
電話で駆けつける

救急車

田方消防本部



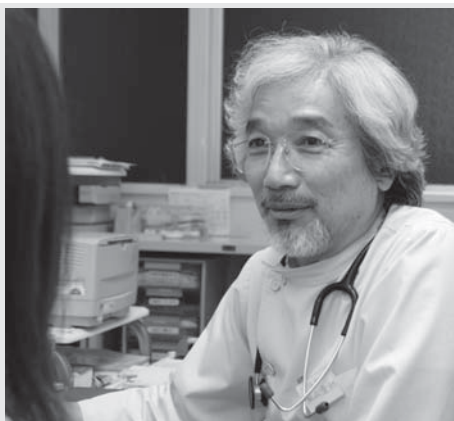
多くの人が救急車の利用について正しく理解しているからです。

近年、救急車の出動件数が増える一方で半数以上は入院が必要ない人だった（総務省消防庁調べ）、という救急車の不適正利用が全国的に問題になっています。

救急車は、緊急に病院に搬送しなければならぬ傷病者のためのものです。本当に救急車を必要とする事故が発生した場合に、救える命が救えない事態が起きないよう、これからも救急車の適正な利用を心がけましょう。

田方北消防署（978・0119）

田方消防本部ホームページで救急救命に関する情報などを検索 <http://www.tagata-fd.jp/seikatu.htm>



夜間急患室の当直を勤める

すぎやま たつろう

杉山 達郎医師（函南さくらクリニック）

夜中に突然発症する病気は、風邪や腹痛というケースが多いので、経験豊かな開業医が診察する『夜間急患室』に来ていただければ、素早く症状を見極め、適切な処置ができます。もちろん入院や手術が必要な場合には、より高度な機能を持つほかの医療機関との連携システムも確立されています。安心してご来院いただきたいと思います。

ただし、『夜間急患室』はあくまでも急患対応なので、薬などは多くお出しできません。その点をご理解のうえ、ご活用ください。

田方のお医者さんが
交替で急患診察

夜間急患室

伊豆保健医療センター



昭和57年、旧田方郡の町村と田方医師会が共同で設立した伊豆保健医療センターでは、5年前から夜間急患室を開設しています。

夜間急患室とは、伊豆保健医療センターの夜間当直医に加え、毎日20時から23時の3時間、田方医師会所属の地域の開業医が協力して、2人体制で急患の受け入れを行うシステムです。これにより、外科系・内科系のどちらの急患も安心して受診できるようになりました。（23時以降は単科診療になります）

診療で入院が必要と判断された場合には、二次救急待機病院への搬送や、さらに高度な医療を必要とする重症患者は、三次救急病院（救命救急センター）である順天堂静岡病院への搬送など、近隣の医療機関と連携しています。

皆さんも、夜中に急病になってしまったときは、夜間急患室を利用しましょう。来院前には電話をお願いします。また、保険証を忘れずにお持ちください。

伊豆保健医療センター

（0558・76・0111）